

他律から自律へ

先月実施された生徒総会で「髪型は自由でもいいですか」「セーターだけで学校生活を送ることも許可して欲しい」「夏場は体育着での登下校を認めて欲しい」などの意見が出ていました。これらは、皆さんが持っている「生徒手帳」の「生活のきまり」（P4～11）に関することです。

「生活の決まり（このお話では「校則」と言い換えます）」は、学校が集団生活の場であることや、皆さん自身が成長の過程であることなどを考えれば必要なものだと思います。ただ、校則の内容や必要性について生徒や保護者の皆さんと共通理解をもつ必要はあります。時代の変化や生徒の実情などにあわせ、見直しを行うことも当然であると考えます。とはいっても、見直しを行い、実際に校則をかえていくというのは簡単なことではありません。私は、校則改訂に動き出す条件は、これからお話する2つのことをクリアすることなのだと考えます。1つ目は、既に存在している「校則」を守ることができているということです。皆さんでいえば、「生活のきまり」をしっかり守るということです。既に存在していたきまりを守ること（他律）は最低条件です。きまりを守れない人に、自分できまりをつくることはできません。

2つ目は、自分たちで自分たちの学校生活をよりよくしようとする気持ちや雰囲気があることです。昨年度、生徒会の自治委員会が中心となって「時場礼」を全面改訂し、「二分前着席」（時）「黙隅清掃」（場）「爽思4秒礼」（礼）などに取り組みました。本当にすばらしいです。「生活のきまり」を超えた取組が主体的にできています。先日の生徒総会の際に、生活指導担当の藤田先生が、「生徒や保護者・地域の皆さんの意見を聞きながら、校則の見直しを行います」とお話ししたのは、皆さんが2つの条件をクリアしてきていると判断してのことです。三尻中学校は「他律」から、自分たちの校則を自分たちで作り守ること「自律」に舵をきるタイミングなのだと感じています。

今、世の中では、チャットGPTを始めとしたAI（人工知能）の存在感が増しています。皆さんが社会に出て仕事を始める頃には、現在の半数近くの仕事がAIに取って代わられるという予測があります。また、皆さんの65%が、今は存在していない仕事に就くという予測もあるのです。これからの社会がどうなっていくのか…残念ながら先を見通すことはとても難しいのです。だからこそ、皆さんには「自律」の力を身に付けて欲しいのです。人を頼るのではなく、自分の頭で考えて、正しく判断し、行動することができれば、どんな難しい局面でも乗り切ることができるはずです。

今後、校則の改訂は、生徒の意見、保護者や地域の皆さんの意見などを取り入れながら慎重に進めていく予定です。「夏場の体育着での登下校」など、すぐにでも対応が可能なものについては対応をします。三尻中学校は「他律」から「自律」への第一歩を踏み出していきます。